

総 評

理科がたいへん難しく、5教科合計の平均点は低くなりました。数学は易しめで、教科間の難易度差が大きい出題となりました。

今回の道コンで、問題の読み間違いや、指示の読み落としのような不注意で得点を失ったものはありませんか。理科や社会で、知識があいまいになっている分野はありませんでしたか。間違えた問題の中に、得点アップのヒントが必ずあります。弱点を1つでも補強して、本番の入試に役立ててください。

本番の入試では、いずれかの教科や特定の大問が特別に難しいということがよく起こります。どの人も皆、自分と同じ状況にあるのですから、焦りは禁物です。落ち着いて気持ちを切り替え、他の大問・教科で実力を発揮できるよう最善を尽くしましょう。健闘を祈ります!!

国 語

標準的な難易度の出題でした。

㊦問4(1)の漢詩の形式を答える問題の正答率が低くなりました。「絶句」と「律詩」の違いを確認しましょう。㊦で正答率が一番低くなったのは、問七の「比喻表現」を採す問題でした。表現技法について確認する必要があるそうです。㊦は、全体的に正答率がやや低くなりました。特に、問三は本文の要旨をつかめなかったのか、「塩鯛」という誤答が多く見られました。古文については、前後のつながりだけでなく、全体の流れをおさえることも大切です。㊦も正答率が低くなりました。時間をかけて解答することができなかったためか、空欄の前後の内容を踏まえていない解答や傍線部の文の意味を正確に捉えきれない解答が多く見られました。時間配分を適切に行うことも、入試では必要になってきます。

数 学

数学としては易しめの出題で、よく得点できています。証明などの得点が普段より伸びている一方、㊦問3の平方根に対する理解や、データの読み取りなど、本来得点すべき問題のとりこぼしが目立ちます。㊦問3のイでは、答え方の指定があるにもかかわらず、具体的な人数の説明がない答案が目立ちました。問題は丁寧に読みましょう。㊦の問3(2)、直線の式の求め方はどんな問題でも同じです。苦手意識を持たずに取り組みましょう。

㊦の問3では、合同の証明のあと、本来証明したかった $CH= FH$ を導けていない答案が目につきました。

入試では、問題が手元に配られたら必ず問題に最後まで目を通し、全体の分量を頭に入れてから解答を始めましょう。時間配分に気をつけ、取り組み易い問題を先に解くことも大切です。

社 会

標準的な難易度の出題でした。

各大問の資料を読みとる問題は比較的良好にできていました。資料の読みとり問題は選択肢と資料を照らし合わせれば確実に得点できるので、苦手な人は過去問や問題集を利用して練習しておきましょう。

分野ごとに見ると、歴史分野の得点率が低く、㊦問5、㊦問6などの近現代の問題や、㊦問1の古代の税に関する問題の得点率が特に低くなりました。

また、記述問題については、問われたことに対する解答ではないものも多く見られました。思い込みで解答せずに、問題文をよく読んで、問われたことに沿って解答するように心がけましょう。

社会はまだまだ得点をのばせる教科です。皆さんの学習の成果が出ることを祈っています。

理 科

非常に難しい出題でした。

㊦は、問1の語句解答を中心に基本的な問題が多く出題されていたので、間違えたところはしっかりと復習しておきましょう。㊦問1は正解できなかった人が多かったようです。血液成分とそのはたらきについて確認してください。㊦は、問3が順を追って思考していく問題でしたが、正答率が極端に低くならず、正解できた人が一定数いたようです。また、問4の計算問題は難しかったようです。㊦問1(2)は計算問題ですが、基本的な問題ですので、間違えた人はしっかりと復習してください。問4は㊦は正解したものの、㊦を間違えた人が非常に多かったようです。㊦は、実験の内容が複雑に感じられたかもしれません。表の結果が何を示しているか理解できたかがポイントでした。

英 語

やや難しい出題となりました。

㊦のリスニングでは、問1のイラスト選択の問題、問4の英問英答の問題で得点率が低くなりました。問1のような一度読みの問題は、あらかじめイラストに目を通しておくことが重要です。また、問4のような二度読みの問題は、一度目に英文の内容と英問、解答の形式を把握し、二度目に英問の答えを確実に聞き取りましょう。また、解答の際には、動詞の形や時制、スペルミスには特に注意してください。

㊦の英作文では、答えるべきポイントにしっかり答えるようにしましょう。また、見直しをする時間をつくり、単語や文法などにミスがないか気をつけてください。

入試では傾向が変わったり難しい問題が出題されることがあります。落ち着いて解答するようにしましょう。